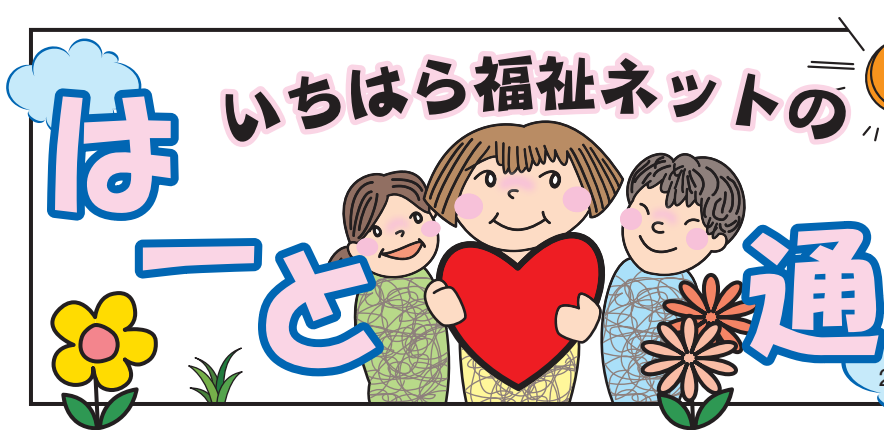




は いちはら福祉ネットの 一と通信

VOL. 75
2026.7.1発行

発行者／中核地域生活支援センター
いちはら福祉ネット
(千葉県委託事業)

☎ 0436-23-5300
FAX 0436-23-5225
Mail ichihara_fnet@bh.wakwak.com
HP http://park22.wakwak.com/
ichihara_fnet/



支える つなぐ 発信する

いちはらには、“こどもの居場所づくりコーディネーター” がいるよ

今、子どもや若者の“居場所”が重要視されています。なぜでしょうか？

現代社会は、少子化や地域のつながりの希薄化により、子どもたちが安心して遊んだり学びあったり、他者との関係性を育む機会が減少しています。いじめやSNS、家庭環境により追い詰められたり、個々の特性から生きづらさを抱えることもあります。

そのような子ども・若者の孤立を防ぎ、健やかな成長を支える場が必要とされているのです。

こどもの居場所づくりコーディネーターって？

このような背景から、市原市では令和7年7月に「こどもの居場所づくりコーディネーター（以下、コーディネーター）」が誕生しました。市原市からNPO法人いちはら市民活動協議会が委託を受けて5名のコーディネーターが活動。この4月からは子ども達の発達面のサポートを長年経験した方が1名加わり、さらにパワーアップしています。

今号では、コーディネーターの峯川さんと小倉さんにお話を伺いました。

Q そもそも“こどもの居場所”とはどのような場所なのでしょう？

A こども自身が「私はここにいていいんだ」と思えることが大切です。大人が「ここが居場所ですよ」と決めるのではなく、こども自身が“認められている”と思える場所・時間・関係性であれば、そこが“こどもの居場所”なんですよね。

Q なるほど。現在、市原市にはどのくらいの居場所があるのですか？数年前は片手で数えられる程度だったと思うのですが。

A 令和8年3月時点で27ヶ所把握をしています。様々な形態が展開されたり、居場所やフリースクールへの補助金が充実してきたことも増えた一因かもしれません。コーディネーターの活動の一環として、「いちはら居場所ガイド2026」という冊子を作って居場所の紹介をしたり、補助金等の紹介もしています。このような情報は、ポータルサイト「いちいば」で発信しています。

Q ほかにどのような活動をされているのですか？

A ネットワークづくりなど居場所の運営団体への支援、新たな居場所づくりや活動立ち上げの支援、子ども・若者や保護者の相談にも対応しています。



▲笑顔が素敵な
「こどもの居場所づくりコーディネーター」の皆さん

Q 「子ども・若者の居場所の開設・運営マニュアル」を拝見しました。とても丁寧に書かれていますね。

A かなりがんばって作りました(笑)。それぞれの居場所の形を大事にしたいし、立ち上げる方の思いも大切にしたい。コーディネーターはそのようなことを支えていく仕事だと思っています。そのために、組織や形を整えて安心して取り組めるようにと作りました。これも「いちいば」でご覧いただけます。

Q 保護者からのご相談の中には、不登校や行き渋りについても多いと聞きますが。

A 不登校や行き渋りという状況に親御さんは混乱してしまいます。そのような保護者の方向けに「市原市版おたすけチャート」を作りました。不登校について正しく知ってもらうことで、親子で抱えてきた不安を少しずつ和らげ、前へ進むきっかけを掴んでもらおうと考えました。回復までの段階と、それぞれの親子の気持ちの違いなど参考にしていただけたと思います。不登校の子の居場所を立ち上げた方の中には、ご自身も同じ経験をしたという方がいます。そのような居場所にもっとスポットを当てたいですね。

Q 活動をされての手応えはありますか？

A 僕たち自身もそれぞれがこどもの居場所に関わっている実践者です。当時、居場所がなくて、でも必要だから創っていったんですよね。

コーディネーターとしては、“横につなぐ役割”なんだけど、結局“なんでも屋”みたいなことになってる。当然わからないことも出てくるんだけど、わからないことは「わからない」と言う。で、「一緒に調べましょう」と。そうやっていくうちに、たくさんの仲間ができて

「こうしたらいいんじゃない?」「この制度が使えるんじゃない?」みたいに広がっていくし、深まっていく。居場所はそもそも複合的で、「やってたら、いろんな縦割りを超えて多くの方々と出会えた」みたいな感覚があります。

Q 最後に、こどもの居場所に関わる方々や市民の方にお伝えしたいことをどうぞ。

A こどもの居場所の主役はこどもです。大人が思う「来てほしい場所」とこどもが「来たい場所」は違うことが多いです。子どもの権利を大切にして進めていくことが大事ですね。

また、福祉の制度は「支援する側・される側」に分かれていることが多いけれど、この関係性が限界なんだと思います。双方向で成り立つ関係を、協働・共創していきましょう！

取材を終えて

フランクな中にも芯の強さが伝わってくるお二人。お話を伺っていて、こどもの居場所は、こどもだけでなく関わる人たちみんなが元気になっていく双方向の関係性が生まれる場だと再確認しました。

令和7年3月に策定された市原市こども計画では、子ども・若者の居場所づくりが重点取組となっています。「こどもの居場所づくりコーディネーター」の益々の活躍が期待されます。



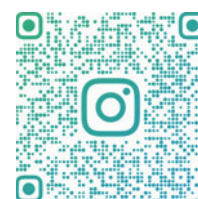
*「こども」「子ども・若者」の異なる2つの表記については、子ども家庭庁の基準に基づき使用しています。



「いちいば」いちはらのいばしょ

居場所を紹介するポータルサイト&インスタグラム

- ・居場所の紹介 (マップ&冊子)
- ・補助金等の紹介
- ・総合相談フォーム
- ・不登校に関する情報
- ・居場所運営団体のインタビュー



@KOWAKA.ICHIIIBA

予告!

中核地域生活支援センター大会 in 2026 「つながりから始まる私たちの地域共生～響きあう地域づくり(仮)～」

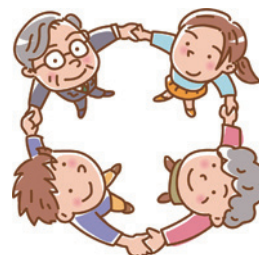
日時：2026年10月9日(金) 午後

会場：千葉市生涯学習センターホール（千葉市中央区弁天3-7-7）

定員：300名（予定）

内容：基調講演、パネルディスカッション、中核地域生活支援センター活動報告

お申込みが必要です。詳しくは、いちほら福祉ネットにお問い合わせください。



市原市内の施設等の夏・秋祭りの日程



日にち	名 称	時 間	問合せ先
7月24日(金)	ききょうサマーフェスティバル2026	17:00～未定	36-8290 (ジョイサポート三和)
8月 1日(土)	昭和村納涼盆踊り大会	18:00～20:00	96-1112 (溪泉荘)
8月 8日(土)	ふる里学舎納涼祭	16:00～19:30	37-7511 (ふる里学舎静風荘)
8月 9日(日)	ききょう祭	17:00～20:30	98-1562 (吉沢学園)
10月24日(土)	クローバー会秋祭り	10:00～未定	60-5115 (クローバー会)



新 任 職 員 紹 介

今年度、市原圏域障害者グループホーム等支援ワーカーは、大宮、相川、園の3名体制となりました。今回は新任2名からご挨拶させていただきます。



相川 大祐（あいかわ だいすけ）：平成27年4月～令和4年3月までの7年間支援ワーカーを担当して、今回4年ぶりの復帰となりました。前回担当していた時に比べて、市原圏域のグループホームの数は大幅に増加しており、新規参入の法人も増えております。各法人・グループホームのそれぞれの特徴をしっかりと把握したうえで、利用者に寄り添った相談支援を行っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。



園 大輔（その だいすけ）：前年度までは障害者支援施設の支援員として8年間ご利用者の生活支援に従事しておりました。現場での支援経験を活かしてグループホームへ入居されている方々へのサポートを行って参ります。何卒、よろしくお願いいたします。

グループホーム等に関するお悩みやご質問があれば、お気軽にご相談ください。
TEL：0436-23-5300（いちほら福祉ネット）



旬の食材を使ったヘルシーメニュー

暑い夏に合うさっぱり
つけ汁がおいしい

夏野菜つけ麺

(1人分：216Kcal)

作り方

- ① 野菜は洗って5mm角（生姜は3mm）のみじん切りに。なすは2分ほど水にさらす。めかぶも刻む。
- ② めんつゆを規定量の水で希釈。
- ③ ①（なすは水を切ってから）の野菜を②に入れ、冷蔵庫で1時間ほど冷やす。
- ④ そうめんを茹でて水で冷まし、ザルに上げ、器に盛り付ける。
- ⑤ ③を器に盛り付ける。

栄養士さんからのおすすめの一言・・・

「夏野菜に豊富に含まれるカリウムは体の余分な熱を下げ、熱中症予防に。ビタミンC・Eやなすに含まれるナスニンには抗酸化作用があり紫外線から肌を守ります。」

今回のレシピは、特別養護老人ホームポプラの樹の 管理栄養士 藤岡 順子様に提供していただきました。

そうめん 4束
なす 1本
きゅうり 1本
みょうが 4個
生姜 1/4個
大葉 4枚
めかぶ 小1パック
めんつゆ 4倍希釈 160ml
(お好みで
酢 七味唐辛子)

材料
(4人分)

いちほら福祉ネット活動報告(2月～5月)

(会議)

- ・市原市相談機関連絡会 [3/17]
- ・市原市相談機関連絡会兼孤独・孤立対策地域協議会 [5/19]
- ・デジタル化検討会 [2/20]
- ・市原市認知症対策連絡協議会 総会 [4/16]
- ・市原市認知症対策連絡協議会 例会 [4/16]
- ・市原市要保護児童対策地域協議会 代表者会議 [5/27]
- ・市原市要保護児童対策地域協議会 実務者会議 [2/26,3/24,4/23,5/26]
- ・特別支援学校特別支援教育コーディネーター連絡協議会 [5/15]
- ・生浜高校居場所カフェ運営会議 [5/18]
- ・市原市障がい者支援協議会 [3/19]
- ・市原市難病相談支援センター連絡協議会 [2/2]
- ・千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 市原圏域実務者会議 [4/20]
- ・千葉県総合支援協議会 相談支援専門部会 [2/5]
- ・千葉県すまいづくり協議会 居住支援部会 [3/3]
- ・外国人相談担当者意見交換会 [2/19]
- ・市原地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会 [3/13]
- ・市原地域リハビリテーション広域支援センターちき会 [2/12,4/17,5/22]
- ・千葉県災害福祉支援ネットワーク協議会 [5/25]
- ・市原市成年後見制度利用促進審議会 [2/2]
- ・市原市成年後見制度利用促進協議会 [3/27]
- ・加茂地区民生委員児童委員協議会 [2/10,3/10,4/14,5/18]
- ・市原市社会福祉協議会 理事会 [3/17]
- ・千葉県社会福祉協議会 政策調整委員会 [2/16]
- ・NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば 理事会 [5/20]
- ・中核地域生活支援センター評価会議 [3/5]
- ・中核地域生活支援センター連絡協議会 総会 [4/28]
- ・中核地域生活支援センター連絡協議会 定例会 [2/24,3/24,4/28,5/26]
- ・中核地域生活支援センター連絡協議会 大会実行委員会 [2/24,3/24,5/26]

(研修・イベント)

- ・千葉県地域福祉フォーラム [2/9]
- ・地域福祉講演会 [2/21]
- ・包括的な相談支援体制づくりを考える研修会 [2/4]
- ・こどもの居場所フェスタinいちほら [5/10]
- ・市原市精神保健福祉フェスタ [3/14]
- ・銀杏の杜勉強会 [2/27,5/22]
- ・不安の理解と付き合い方～後編～ [3/30]
- ・ひきこもりサポーター等養成研修 [3/9]
- ・女性支援新任職員研修会 [4/30]
- ・ちこネット実務者ミーティング [2/23]
- ・中核地域生活支援センター連絡協議会 制度政策委員会勉強会 [2/7,3/24]
- ・中核地域生活支援センター連絡協議会 学習会 [3/13]
- ・中核地域生活支援センター連絡協議会 研修会 [5/8]

(その他)

- ・日本福祉大学平野隆之客員教授ヒアリング受入れ [4/23]
- ・笑顔つながる いちほら2035 キックオフミーティング(登壇者派遣) [5/30]
- ・市原市要保護児童対策地域協議会 研修会(講師派遣) [5/27]
- ・千葉県立生浜高等学校 卒業式(来賓派遣) [3/4]
- ・ちはら台地区福祉の総合相談(出張相談) [2/21,3/21,4/18,5/16]
- ・市原市参加支援の場づくり事業[みんなのカフェ](運営) [2/6,3/6,4/17,5/15]
- ・校内居場所づくり事業[生浜高校しほたカフェ](運営) [3/21]

いちほら福祉ネットへの相談件数(速報値)

令和8年2月～令和8年5月

延相談件数 686件(新規76件)

相談方法	電話	596件	対象者	高齢者	72人
	訪問	41件		障害者	329人
	来所	45件		児童	68人
	関係者会議	4件		その他	217人

令和7年度(4月～3月)

延相談件数2,404件

編集後記

祭りは日本の風物詩ですね。多くの福祉施設でも感染防止に気を配りながら開催されています。コロナ禍で壊滅した一般公開もちらほら再開。7年ぶりの夏祭り情報をお届けします。(スタッフ一同)